

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

## 外部評価の結果

**事業所名** グループホーム東倉敷

日付 平成17年3月3日  
特定非営利活動法人

**評価機関名** 高齢者と痴呆の人のケアを大切にす会

LIFE SUPPORT推進グループ  
評価調査員 在宅介護経験8年  
評価調査員 在宅介護経験8年  
評価調査員 在宅介護経験10年  
評価調査員 老人保健施設介護経験及び介護  
支援専門員8年

**自主評価結果を見る**

**評価項目の内容を見る**

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります！)**

### 調評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

「掃除機をかけている人」「里芋の皮むきする人」「大根・人参を切る」自分の仕事に励んでいる利用者。「新聞を見ている」「愛犬の相手をする」それぞれの人が「ゆったりとした食事前の雰囲気」と思っていると、「洗濯物のシワを伸ばして干さない!」「私の服は毎日洗わないでちょうだい!」元氣な注文、いや注意かな。「はい、これから注意します」利用者と職員の遠慮のないやりとりは、一変して昔の長屋の井戸端会議のよう。「自分の主張を平気で言い合える楽しい雰囲気」職員が何気なく対応している様子を見て「利用者の意志を尊重している場面」に出会った。  
壁には「壁新聞」が貼ってあり、ホームの様子や利用者一人ひとりのエピソードが書かれている。これが毎月家族にも送られる。又、利用者が選んだ“Birthday Card”に自分自身の言葉を書き入れて家族に送る。利用者がふと漏らした“つぶやき”を宝物のように大切に、家族へのメッセージを支援している。利用者への思い入れ、家族に対する考え方が、管理者、職員の口々から出る言葉、そしてケアの基礎を身につけた自信からにじみ出ているのだろう。男性ボランティアが週4回訪問してくれ、利用者が楽しみに待っている。「誰よりも大切な人?」と職員も苦笑する。又、外出も大切にして、色々な人との出逢いや、交通機関を利用して、普通の人の生活を味わっている。もう一人(?)愛犬が同居していて、暖かさを感じる。毎日の生活が豊かなグループホームである。

特に改善の余地があると思われる点 次のような提案をした

ハード面のマイナスを職員全体でカバーして、グループホームの良さが開花していこうとしているのは楽しみであるが、もっと家族や地域の人々、その他の応援の力を取り入れる働きかけや、風通しの良さに取り組む努力をされて、利用者一家族-グループホーム-地域が一体となつて素晴らしいグループホームになるよう見守りたい。  
利用者の輝いた頃の写真や思い出の品が、現在の写真と一緒に飾られていたら、話も広がるし、今の生活にプラスになるものを見つけるきっかけになるかも知れない。  
利用者は加齢と共に、能力と自信を失っていく過程は避けて通れないけれど、日常のケアと共に、家族も一緒に生活している種もりで、一人ひとりを日常の生活の中で励まし合える環境を最期までつくりたい。

## I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か どれ程重度の認知症の方でも拒まず、どんな方にも「このホームに馴染んで頂けるようになる」のが職員の願いであり、喜びでもある。 自分でやりたい事を自分で意思表示できない利用者にも気持ちを察して、「今日もこれが出来た」という喜びを感じて貰い、充実感のある生活を支援していく努力が、あちこちで見られる。		

### 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か ソファ、椅子、机の組み合わせをうまく配置して、一人ひとりの居心地の良いところを陣取りをりして、自分の居場所をつくっている。愛犬もお客さんの出迎え、利用者にも甘えて仲間入りして、心の癒し、話題のきっかけ作り等、とても良い効果となっている。 もうすぐ冬、テレビ前のソファを畳にして、コタツを囲み、おしゃべりや団樂の出来る日が楽しそう。職員はせかせかせず、ゆったりとしていて、家族的発達の生活をしている。		

## III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 利用者は歳をとればと程「自分は大切に思われているかどうか」「自分の気持ちを知ってくれているかどうか」を認知症になっても、とても敏感に感じるものです。職員は「今自分のしているサービスは?」「自分達のしているサービスはどんなポジションにある?」「どうすればもっと良くなるか?」ということを常に考えている。利用者一人ひとりの思いや意志をどれだけ大切にしていこうか、具体的な1つ1つの事柄を積み上げ、向上していこうとする気持ちと向上心が痛い程感じることが出来、よく頑張っていると感心した。利用者と家族に、安心して暮らせるグループホームと信頼されるよう常に向上していって貰いたい。		

## IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のベースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人ができることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 外部研修を積極的に受講したり、グループホーム内での研修やリーダー会議、そして職員の勉強会で常に問題提起をして、職員は共通の課題として、利用者や家族に接している姿は素晴らしい。 地域との交流も、公民館活動にも参加したり、ボランティアの協力も受け入れ、家族への情報提供や家族の気持ち、苦情等をしっかりと受け止め、ホームの運営に役立っている。本来ならば良く出来ているグループホームと評価したいが、これからの地域ぐるみの高齢者ケアのリーダーとして更に成長して貰いたいと願っている。		